

# コンパクト Hausdorff 空間の正規性についての補足

幾何学 AII/幾何学 I (担当: 新國)

2013 年 12 月 18 日 (水)

以下で、講義において時間の都合上述べなかつた定理 8.2.5 の証明を述べる.

定理 8.2.5. コンパクトな Hausdorff 空間は正規空間である.

(証明)  $(X, \mathcal{O})$  をコンパクトな Hausdorff 位相空間とし,  $\mathcal{U}$  をその閉集合系とする. Hausdorff 空間は  $T_1$ -空間であったから (命題 8.1.2), あとは  $(X, \mathcal{O})$  が条件  $(T_4)$  をみたすことを示せば良い. ここで  $(T_4)$  とは  $(X, \mathcal{O})$  に関する以下の条件であった:

$(T_4)$   $A_1 \cap A_2 = \emptyset$  なる  $A_1, A_2 \in \mathcal{U}$  に対し, ある  $O_1, O_2 \in \mathcal{O}$  が存在して,  $A_1 \subset O_1$ ,  $A_2 \subset O_2$ ,  $O_1 \cap O_2 = \emptyset$  が成り立つ.

$(X, \mathcal{O})$  が条件  $(T_4)$  をみたすことを示そう.  $A_1, A_2 \in \mathcal{U}$ ,  $A_1 \cap A_2 = \emptyset$  とすると,  $(X, \mathcal{O})$  はコンパクトなので, 定理 7.1.6 より,  $A_1, A_2$  はともに  $X$  のコンパクト部分集合である. 一方,  $x \in A_1, y \in A_2$  とすると,  $A_1 \cap A_2 = \emptyset$  から  $x \neq y$  で,  $(X, \mathcal{O})$  が Hausdorff 空間であることから,  $x$  のある開近傍  $U_y(x)$ , 及び  $y$  のある開近傍  $V_x(y)$  が存在して,  $U_y(x) \cap V_x(y) = \emptyset$  が成り立つ. そこでいま,  $x \in X$  を 1 つ固定して, それに対する  $V_x(y)$  を全て集めた  $X$  の部分集合族  $\mathcal{C}_{A_2}$  を考える. 即ち

$$\mathcal{C}_{A_2} = \{V_x(y) \mid y \in A_2\}$$

である. これは  $A_2$  の  $X$  における開被覆であり,  $A_2$  が  $X$  のコンパクト部分集合であることから, ある有限個の  $y_1, y_2, \dots, y_s \in A_2$  が存在して

$$A_2 \subset \bigcup_{j=1}^s V_x(y_j)$$

が成り立つ. そこで

$$U_x = \bigcap_{j=1}^s U_{y_j}(x), \quad V_x = \bigcup_{j=1}^s V_x(y_j)$$

とおくと,  $U_x, V_x \in \mathcal{O}$  で,

$$x \in U_x, \quad A_2 \subset V_x, \quad U_x \cap V_x = \emptyset$$

が成り立つことがわかる (講義において, 補題 7.2.3 の証明で用いた議論と全く同様である. 図 1 の左上図も参照せよ).

さて, 今度は  $U_x$  を任意の  $x \in A_1$  について全て集めた  $X$  の部分集合族  $\mathcal{C}_{A_1}$ , 即ち

$$\mathcal{C}_{A_1} = \{U_x \mid x \in A_1\}$$

を考えよう. これは  $A_1$  の  $X$  における開被覆であり,  $A_1$  が  $X$  のコンパクト部分集合であることから, ある有限個の  $x_1, x_2, \dots, x_r \in A_1$  が存在して

$$A_1 \subset \bigcup_{i=1}^r U_{x_i}$$

が成り立つ. そこで

$$O_1 = \bigcup_{i=1}^r U_{x_i}, \quad O_2 = \bigcap_{i=1}^r V_{x_i}$$

とおくと (図 1 の右上図も参照せよ),  $O_1, O_2 \in \mathcal{O}$  で,

$$A_1 \subset O_1, \quad A_2 \subset O_2, \quad O_1 \cap O_2 = \emptyset$$

が成り立つ. これで条件 (T<sub>4</sub>) が示された. □

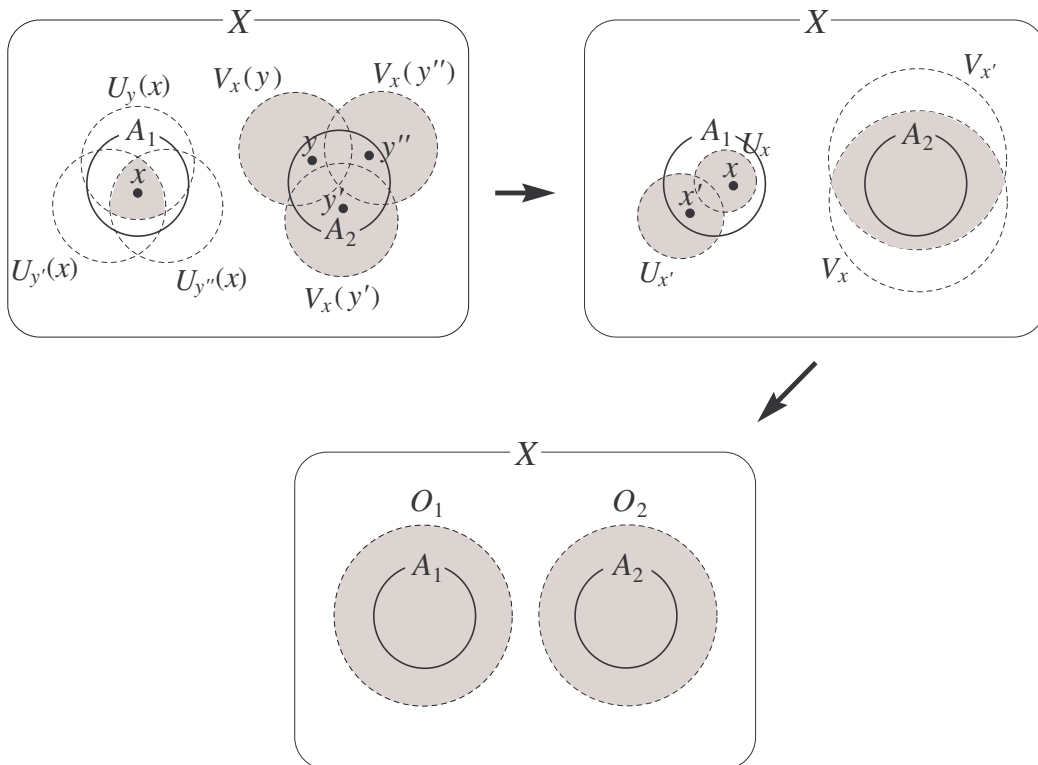


図 1:  $A_1 \subset O_1, A_2 \subset O_2$  なる  $O_1 \cap O_2 = \emptyset$  の構成